オリンピック種目別実績推移
対象大会：オリンピック本大会/世界選手権

オリンピック強化委員会
2024年12月28日

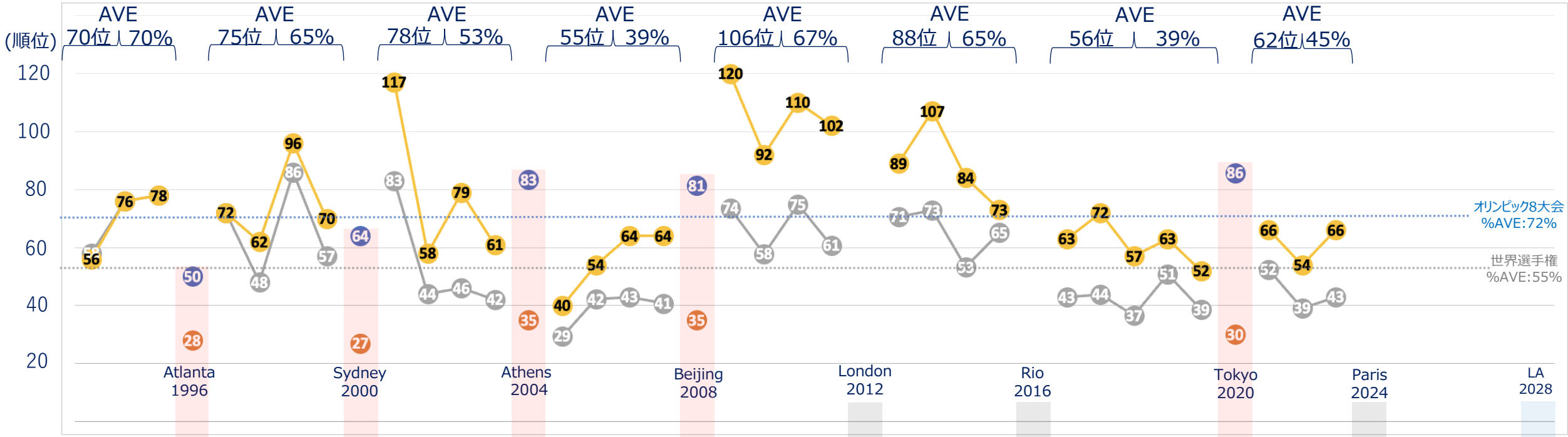
ILCA7

過去オリンピック8大会　順位AVE：31位/43艇　%AVE：72%
過去31年の世界選手権　順位AVE：75位/137艇　%AVE：55%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	1994	1995	1996	1996	1997	1998	1999	2000	2000	2001	2002	2003	2004	2004	2005	2006	2007	2008	2008	2009	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	96	100	100	56	100	130	112	122	42	141	131	171	145	42	136	128	149	157	43	163	159	147	168	不参加	126	147	158	112	不参加	147	164	156	124	135	35	126	138	152	不参加				
順位	56	56	78	28	72	62	96	70	27	117	117	58	61	35	40	54	64	64	35	120	92	110	102		89	107	84	73		63	72	57	63	52	30	66	54	66					
代表選手			佐々木 共之					鈴木 國央					鈴木 國央					飯島 洋一					国枠未獲得				国枠未獲得							南里 研二			国枠未獲得					

- 1996年のアトランタ大会より「シングルハンド男子」の正式艇種としてLaser(パリ大会よりILCA7に名称変更)が採用されている。
- 過去8大会のオリンピック大会平均順位は31位、パーセントAVEで72%。
- これまで開催された8回のオリンピックの中で、ロンドン、リオ, パリ大会の3大会で国枠を獲得できず不参加。自国開催の東京大会では13年ぶりの出場となる。
- 過去31年間の世界選手権大会の平均順位は75位、パーセントAVEで55%。

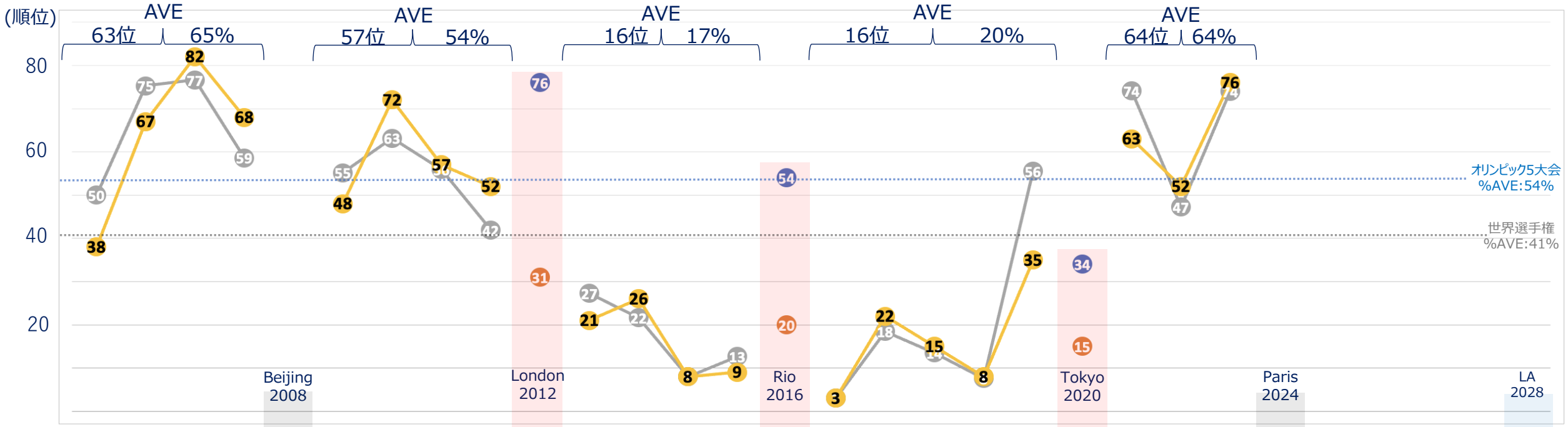
ILCA6

過去オリンピック5大会　順位AVE：22位/40艇　%AVE：54%
過去20年の世界選手権　順位AVE：41位/99艇　%AVE：41%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	2005	2006	2007	2008	2008	2009	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	76	89	107	116	不参加	87	114	102	124	41	77	120	100	71	37	99	119	111	105	63	44	85	110	102	不参加					
順位	38	67	82	68		48	72	57	52	31	21	26	8	9	20	3	22	15	8	35	15	63	52	76						
代表選手					国枠未獲得					土居 愛実					土居 愛実						土居 愛実			国枠未獲得					

- 2008年北京大会からヨーロッパ級に代わって「シングルハンド女子種目」の正式種目にLaserラジアル級(パリ大会よりILCA6に名称変更)が採用された。第1回大会となる2008年と2024年は国枠を獲得できず不参加。過去5回のオリンピック大会平均順位は22位、パーセントAVEで54%。
- 2012の世界選手権に18歳で出場した土居愛実選手が日本代表選手となり、ロンドン大会に初出場、その後3大会連続のオリンピック出場を果たしている。2017年には日本人初の世界選手権で銅メダルを獲得。アーサーブレッド（AUS）コーチと共に10年間で4回のメダルレース出場と銅メダル1個の獲得を成し遂げた。
- 過去20年間の世界選手権大会の平均順位は41位、パーセントAVEで41%。

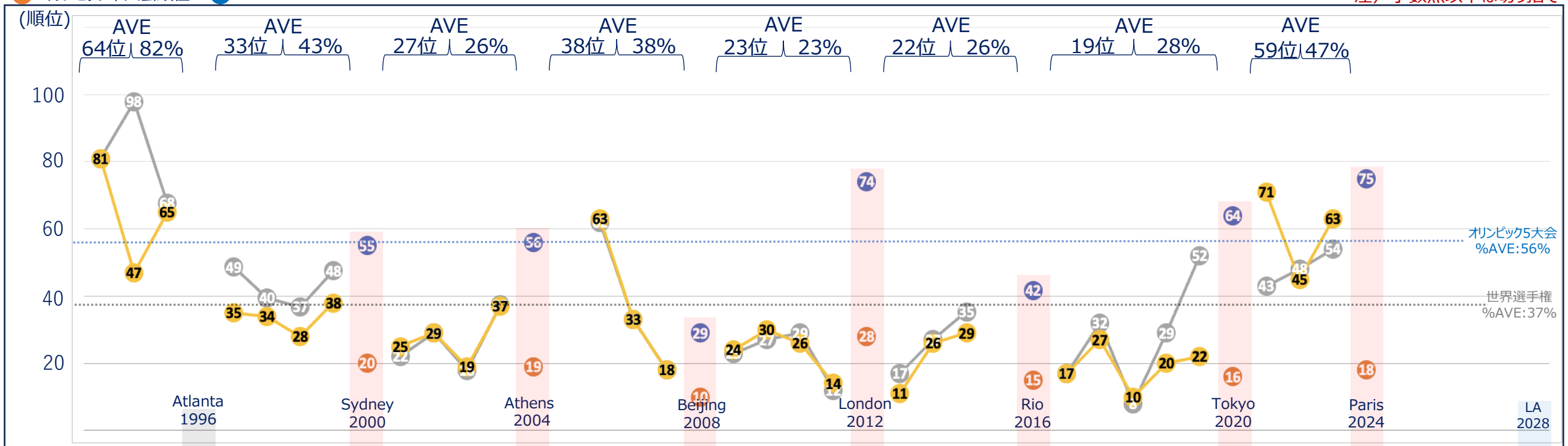
iQFOiL M

過去オリンピック8大会　順位AVE：18位/32艇　%AVE：56%
過去31年の世界選手権　順位AVE：34位/90艇　%AVE：37%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	1994	1995	1996	1996	1997	1998	1999	2000	2000	2001	2002	2003	2004	2004	2005	2006	2007	2008	2008	2009	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	100	48	96	不参加	72	86	76	80	36	110	97	106	99	34	不参加	101	100	100	35	103	110	91	118	38	64	98	82	不参加	36	102	85	130	70	42	25	164	93	117	24					
順位	81	47	65		35	34	28	38	20	25	29	19	37	19		63	33	18	10	24	30	26	14	28	11	26	29		15	17	27	10	20	22	16	71	45	63	18					
代表選手				国枠未獲得					見城 元一					見城 元一					富澤 慎					富澤 慎				富澤 慎						富澤 慎				富澤 慎					

Mistral：11大会AVE 38位 47%　RS:X：15大会AVE 24位 28%　iQFOiL

- 1996年アトランタ大会より「男子ウィンドサーフィン種目」の正式艇種としてMistral級が採用された。第1回大会は国枠未獲得のため未出場であるが、2000年シドニー大会以降は連続出場を継続。2024年パリ大会では富澤慎選手がオリンピック連続5回出場という偉業を達成。
- 28年間の間で2回の正式艇種変更が行われており、東京大会以降はiQFOiL級へ変更され4年が経過。（注：2028年LA大会に向けてセールサイズの変更あり）
- 2008年北京大会では富澤慎選手がオリンピック史上最高の10位を獲得。過去オリンピック8大会の平均順位は18位、パーセントAVEは56%。

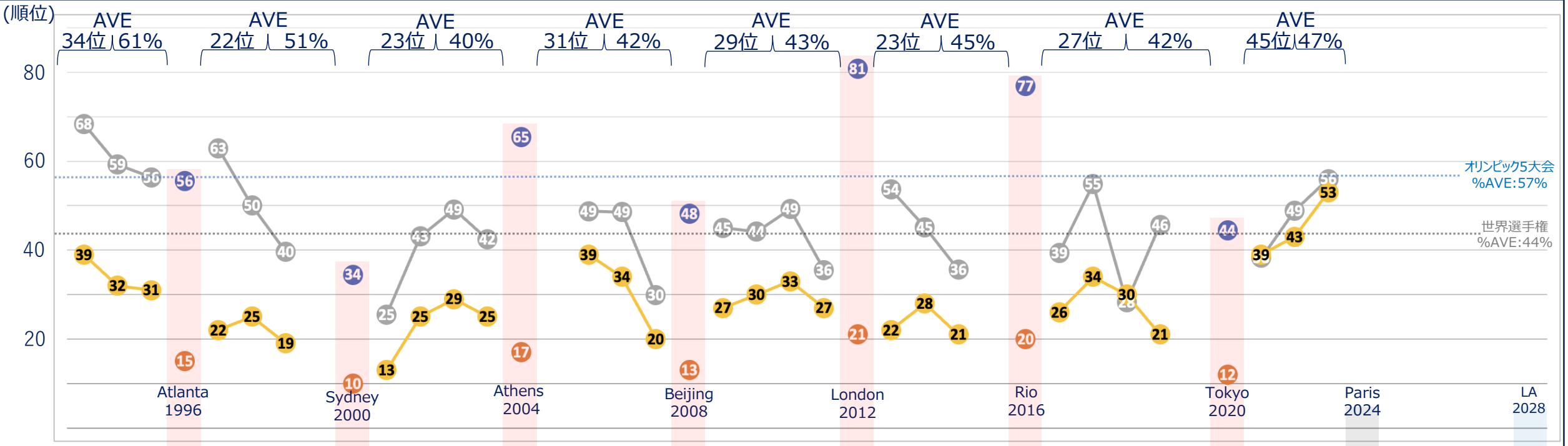
iQFOiL W

過去オリンピック7大会　順位AVE：15位/26艇　%：57%
過去31年の世界選手権　順位AVE：29位/64艇　%：45%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	1994	1995	1996	1996	1997	1998	1999	2000	2000	2001	2002	2003	2004	2004	2005	2006	2007	2008	2008	2009	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	57	54	55	27	35	50	48	不参加	29	51	58	59	59	26	不参加	80	70	67	27	60	68	67	76	26	41	62	59	不参加	26	66	62	106	46	不参加	27	102	88	94	不参加				
順位	39	32	31	15	22	25	19		10	13	25	29	25	17		39	34	20	13	27	30	33	27	21	22	28	21		20	26	34	30	21		12	39	43	53						
代表選手				今井 雅子					今井 雅子					今井 雅子					小菅 寧子						須長 由季				伊勢田 愛						須長 由季			国枠未獲得					

Mistral：11大会AVE 26位 50%　RS:X：15大会AVE 28位 43%　iQFOiL

- 1996年アトランタ大会より「女子ウィンドサーフィン種目」の正式艇種としてMistral級が採用された。
- 過去オリンピック8大会の平均順位は15位、パーセントAVEで57%。31年間の間で2回の正式艇種変更が行われており、東京大会以降にiQFOiL級へ変更され4年が経過。（注：LA2028に向けてセールサイズの変更あり）。 2000年のシドニー大会では今井雅子選手がオリンピック史上最高の10位を獲得。
- 2024年パリ大会では国枠を獲得できず連続出場を逃す。過去31年の世界選手権平均順位は29位、パーセントAVEで45%。

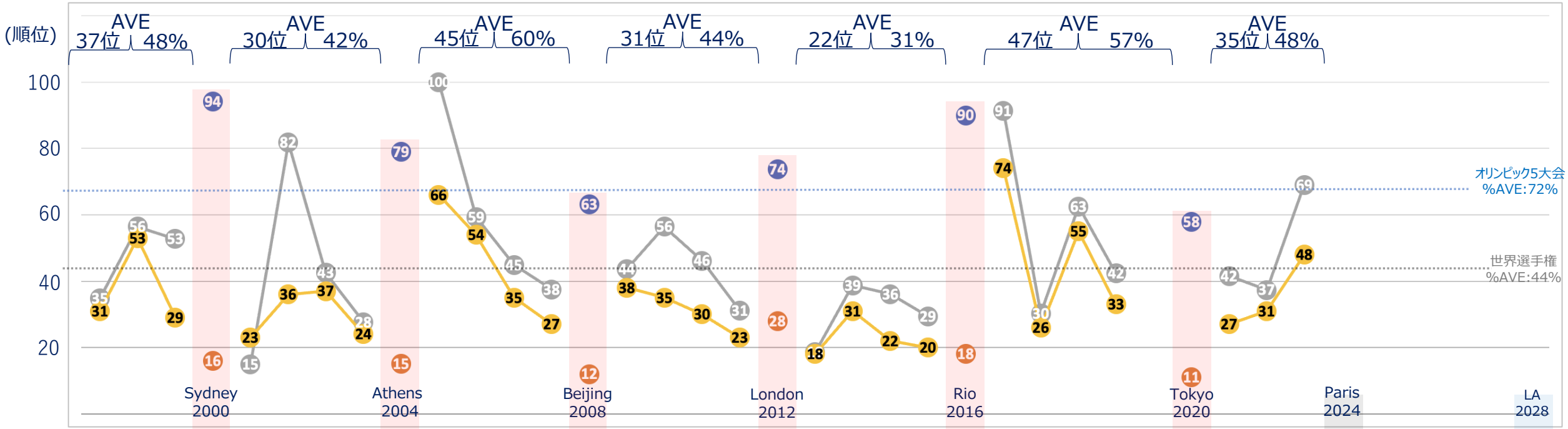
49er

過去オリンピック7大会　順位AVE：16位/22艇　%：72%
過去27年の世界選手権　順位AVE：35位/77艇　%：45%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	1998	1999	2000	2000	2001	2002	2003	2004	2004	2005	2006	2007	2008	2008	2009	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	89	94	55	17	155	44	87	87	19	66	91	78	72	19	87	62	65	74	38	97	80	61	68	20	81	86	88	78	不参加	19	65	83	69	不参加					
順位	31	53	29	16	23	36	37	24	15	66	54	35	27	12	38	35	30	23	28	18	31	22	20	18	74	26	55	33		11	27	31	48						
代表選手				中村 健次 /佐々木 共之					中村 健次 /高木 正人					石橋 顕 /牧野 幸雄					牧野 幸雄 /高橋 賢次					牧野 幸雄 /高橋 賢次						高橋 稜(Leo) /小泉 維吹				国枠未獲得					

- 2000年シドニー大会より「男子スキフ種目」の正式艇種として採用され、過去6回のオリンピック大会平均順位は16位、パーセントAVEで72%。
- 第1回開催から6大会連続でオリンピック出場を継続していたが、2024年パリ大会では国枠を獲得できず連続出場を逃している。2020年東京大会では高橋/小泉組が過去最高順位となる11位の成績を残した。
- 過去26年間の世界選手権大会の平均順位は35位、パーセントAVEで44%。直近3年間での世界選手権の平均順位は35位、パーセントAVEで45%。

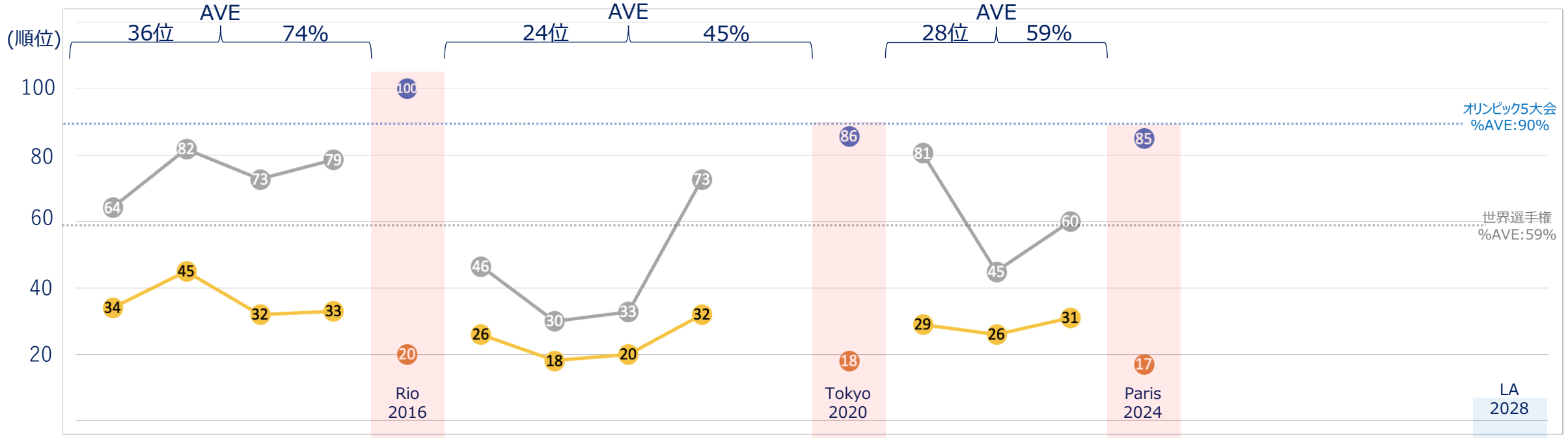
49erFX

過去オリンピック3大会　順位AVE：18位/20艇　%：90%
過去12年の世界選手権　順位AVE：29位/49艇　%：59%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	53	55	44	42	20	56	60	61	44	不参加	21	36	58	51	20					
順位	34	45	32	33	20	26	18	20	32		18	29	26	31	17					
代表選手					宮川 恵子 /高野 芹奈						山崎 アンナ /高野 芹奈				田中 美紗樹 /永松 瀬羅					

- 2016年リオ大会から[女子スキフクラス種目」の正式艇種として49erFXが採用され、これまで3回のオリンピックの平均順位は18位、パーセントAVEで90%。
- リオ大会では当時高校3年生の高野瀬奈選手がクルーで出場権を獲得。
- 世界選手権は2013年から開催されており、11回出場した平均順位は29位でパーセントAVEで59%。
- 直近3年間の世界選手権の平均順位は28位、パーセントAVEで59%。

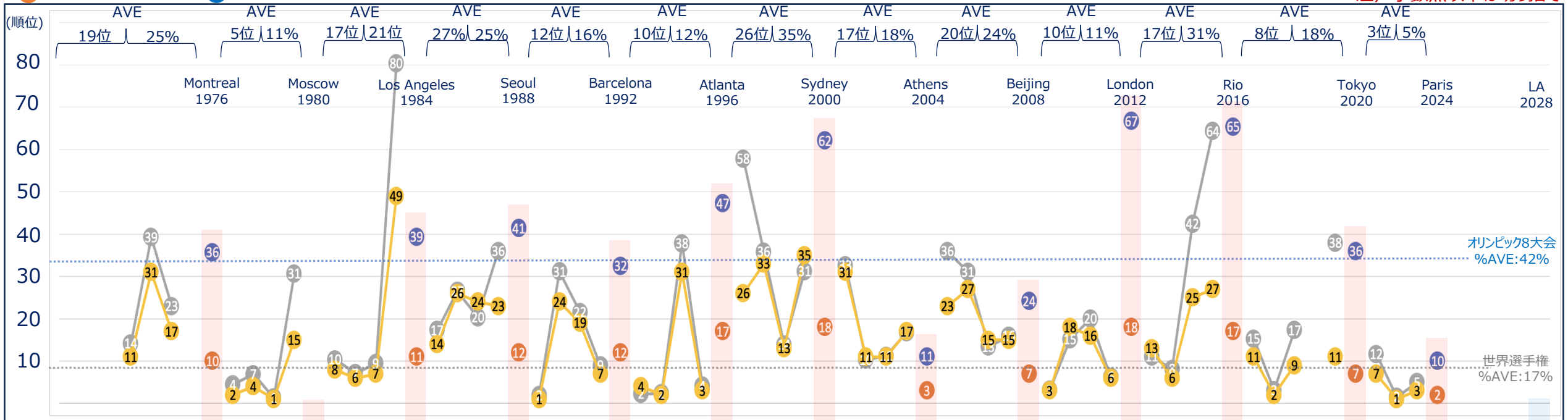
470M/MIX

過去オリンピック13大会　順位AVE：11位/26艇　%AVE：42%
過去48年の世界選手権　順位AVE：14位/80艇　%AVE：17%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



| 年度 | 1970 | 1971 | 1972 | 1973 | 1974 | 1975 | 1976 | 1976 | 1977 | 1978 | 1979 | 1980 | 1980 | 1981 | 1982 | 1983 | 1984 | 1984 | 1985 | 1986 | 1987 | 1988 | 1988 | 1989 | 1990 | 1991 | 1992 | 1992 | 1993 | 1994 | 1995 | 1996 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2028 |
|---|---|---

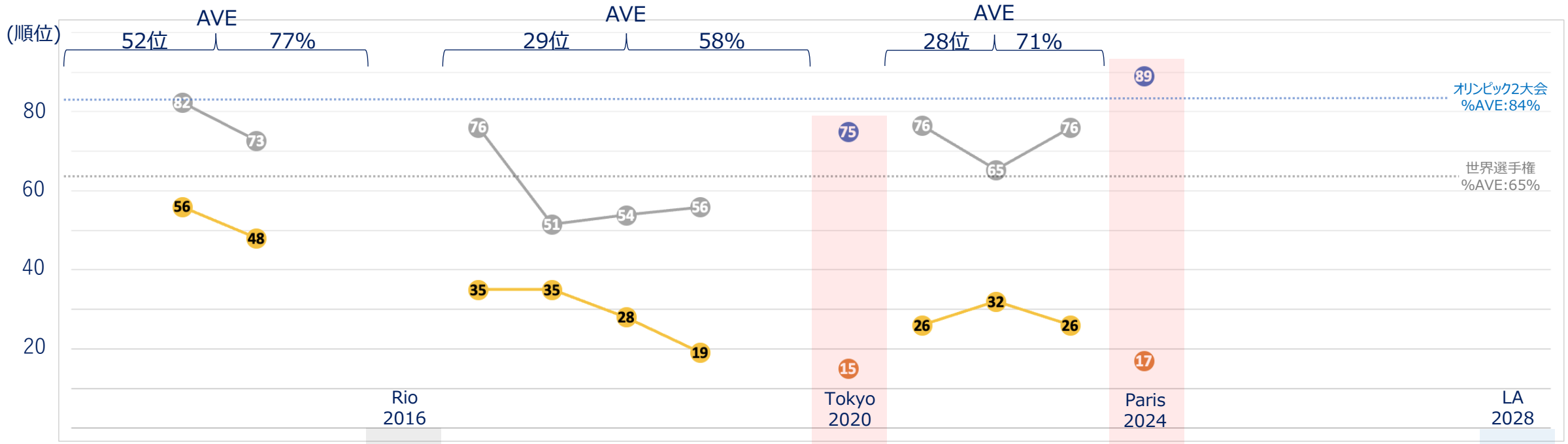
Nacra17

過去オリンピック3大会　順位AVE：16位/19艇　%：84%
過去12年の世界選手権　順位AVE：33位/50艇　%：66%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	不参加	68	66	不参加	不参加	46	68	52	34	不参加	20	34	49	34	19					
順位		56	48			35	35	28	19		15	26	32	26	17					
代表選手					国枠未獲得						飯束 潮吹 /畑山 絵里				飯束 潮吹 /西田 カピーリア 桜良					

- 2016年リオ大会から[ミックスマルチハル種目」の正式艇種としてNacra17が採用され、第1回のリオ大会は国枠を獲得できず不参加。
- パリ大会では開催国枠を除き初の国枠を獲得、順位は17位、パーセントAVEで89%。
- 世界選手権は2013年から開催されており、過去11年間の平均順位は33位、パーセントAVEで66%。
- 過去オリンピック３大会の平均順位は16位、パーセントAVEは84%。直近3年間の世界選手権の平均順位は28位、パーセントAVEで71%。

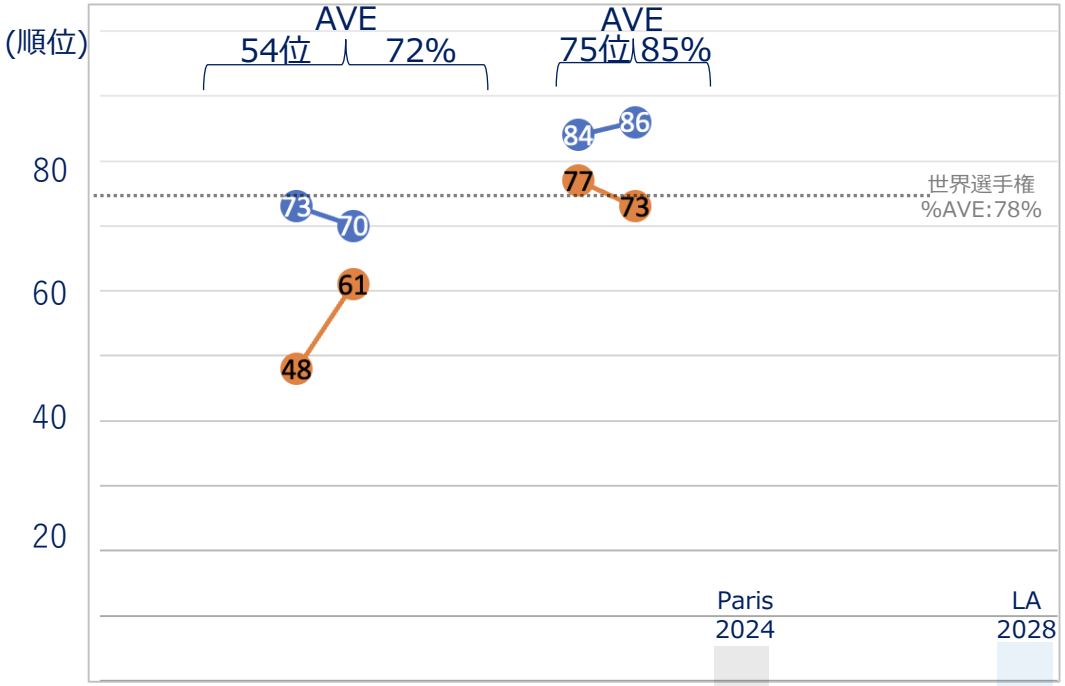
Formula Kite M

過去9年の世界選手権
順位AVE：64位/82艇　%：78%

W

過去9年の世界選手権
順位AVE：30位/32艇　%：93%

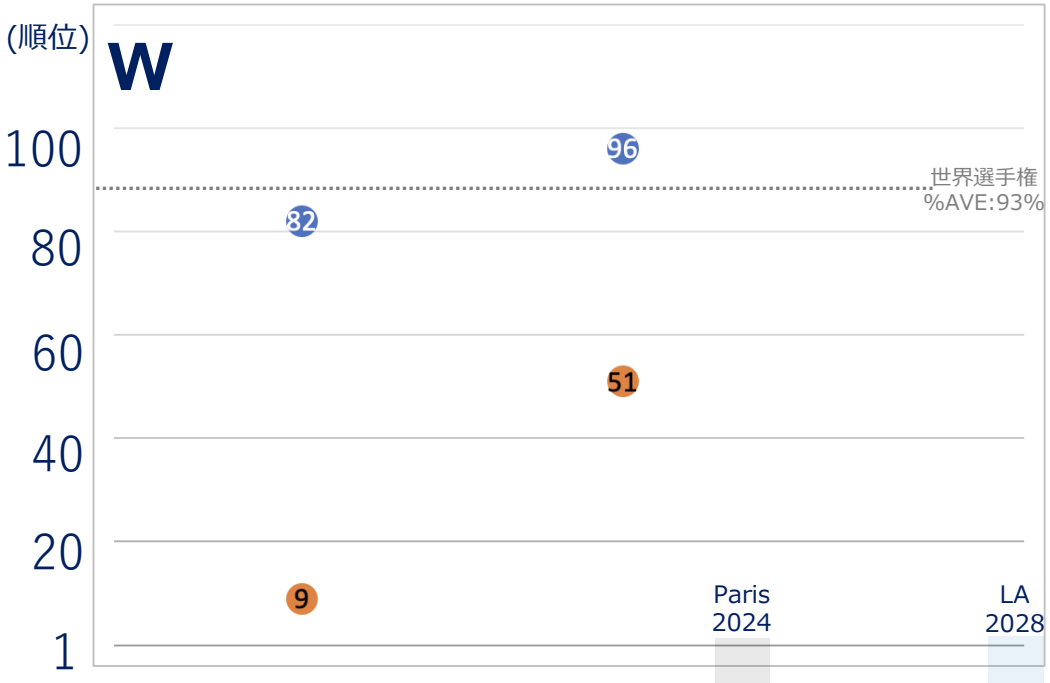
注）小数点以下は切り捨て



:世界選手権順位

:%（順位/参加艇数）

%（パーセント）
＝順位/参加艇数



年度	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	不参加	未開催	不参加	65	70	不参加	不参加	未開催	92	84	不参加	不参加					
順位				48	61				77	73							

代表選手　　国枠未獲得

年度	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2026	2027	2028	2028
参加艇数	不参加	未開催	不参加	11	不参加	不参加	不参加	未開催	不参加	53	不参加	不参加					
順位				9						51							

代表選手　　国枠未獲得

- 2024年のパリ大会で「男子/女子カイト種目」として初採用。世界選手権は2016年から開催されており、過去男子/4回、女子/2回の参加実績。
- 男子世界選手権の平均順位は64位、パーセントはAVE72%。女子世界選手権の平均順位は30位、パーセントAVEで93%。
- 直近の男子/世界選手権2大会の平均順位は75位、パーセントAVEは85%、女子/2023世界選手権2大会の平均順位は30位、パーセントAVEで93%。
- 2024年パリ大会では男子/女子共に国枠を獲得できず出場を逃す。

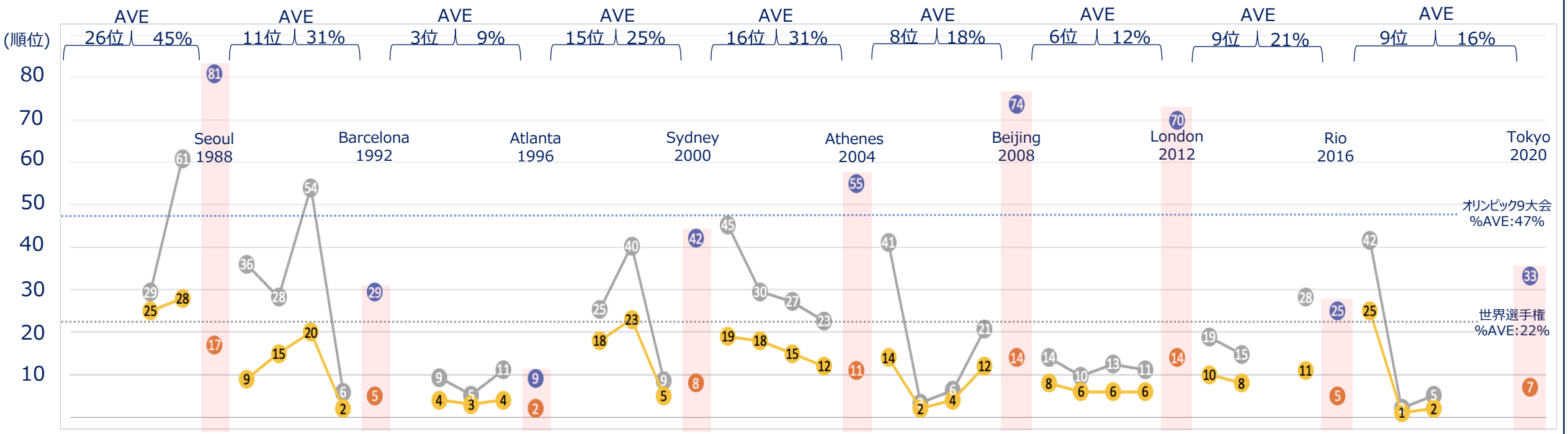
470W

過去オリンピック9大会　順位AVE：9位/19艇　%AVE：47%
過去36年の世界選手権　順位AVE：11位/50艇　%AVE：22%

%（パーセント）＝順位/参加艇数

:世界選手権順位　:%
:オリンピック本大会順位　:%

注）小数点以下は切り捨て



年度	1985	1986	1987	1988	1988	1989	1990	1991	1992	1992	1993	1994	1995	1996	1996	1997	1998	1999	2000	2000	2001	2002	2003	2004	2004
参加艇数	不参加	不参加	85	46	21	25	53	37	34	17	不参加	43	58	36	22	不参加	71	57	58	19	42	61	55	53	20
順位			25	28	17	9	15	20	2	5		4	3	4	2		18	23	5	8	19	18	15	12	11
代表選手				野上 敬子 /斉藤 愛子					重 由美子 /木下 アリーシア					重 由美子 /木下 アリーシア					重 由美子 /木下 アリーシア					吉迫 由香 /佐竹 美都子	

年度	2005	2006	2007	2008	2008	2009	2010	2011	2012	2012	2013	2014	2015	2016	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021
参加艇数	34	60	63	58	19	57	62	48	54	20	53	54	不参加	39	20	60	47	39	不参加	未開催	21
順位	14	2	4	12	14	8	6	6	6	14	10	8		11	5	25	1	2			7
代表選手				近藤 愛 /鎌田 奈緒子					近藤 愛 /田畑 和歌子					近藤 愛 /吉岡 美帆							吉田 愛 /吉岡 美帆

- ▶ 1988年のソウル大会より「女子ダブルハンド種目」として470級が正式艇種に採用。過去9大会のオリンピック大会平均順位は9位、パーセントAVEで47%。
- ▶ 1996年のアトランタ大会に於いて重　由美子/木下　アリーシア組が日本セーリング界、史上初となる銀メダルを獲得。
- ▶ 2018年の世界大会では、近藤　愛/吉岡　美帆組が日本セーリング界、女子史上初となる金メダルを獲得している。
- ▶ 過去36年間の世界選手権大会の平均順位は11位、パーセントAVEで22%。
- ▶ 2024年のパリ大会よりMIX種目に変更となったため、本資料上の470女子の記録は東京大会で終了とする。

セーリング競技の歴史

セーリング発祥の地はオランダとされており、蒸気機関やエンジンが発明されていない時代に、大海原を渡るために生まれた。当初は地方の探査や物資の輸送を目的とするものであったが、その後、レジャーとしてセーリングを始める人が徐々に増えていき、欧米を中心に広くスポーツとして発展した。

オリンピック競技大会は1896年のアテネ大会以来、128年の月日が経過しており、2028年に開催されるロス大会で33回目の開催となる。
セーリング競技として日本が初めてオリンピックに参加したのは1936年のベルリン大会である。その後、第2次世界大戦後の1952年に２回目となるヘルシンキ大会に出場。以来51年の歴史の中で、1996年アトランタ大会において重 由美子/木下 アリーシア組が470級女子において日本セーリング史上初の銀メダルを獲得、2004年アテネ大会では470級男子において関 一人/轟 賢二郎組が男子史上初の銅メダルを獲得。以降20年の歳月を経て、2024年パリ大会において混合470級の岡田 奎樹/吉岡 美帆組が、20年ぶりの銀メダルを獲得。日本は銀メダル2個、銅メダル1個の合計3個のメダルを獲得している。

1720年：16世紀初頭アイルランドで初めて世界最古のヨットクラブが創立
1800年：80年代中期よりスポーツとしてのセーリングが活発化
1875年：日本で初めてヨットレース（セーリング）が開催
1890年：90年代に大学予備門などの上級学校に導入され、各地の師範学校や旧中学校でレースが開催される
1896年：第1回オリンピック競技大会(アテネ)が開催され、セーリング競技が採用される（悪天候のため大会実施されず）
1932年：日本ヨット協会（JYA）が発足
1936年：日本が初めてオリンピックに参加（ベルリン大会）。その後、第2次世界大戦となり日本は不参加
1952年：ヘルシンキ大会において、２回目のオリンピック参加
1964年：東京オリンピックが開催され、セーリング競技は江の島会場にて実施される
1979年：世界選手権、オランダ：メデンブリックにて甲斐 幸/小宮 亮組が日本人史上初の金メダルを獲得（470男子）
1989年：世界選手権、日本：津にて堤 智章/堤 伸浩組が日本人2チーム目の金メダルを獲得（470男子）
1996年：オリンピック・アトランタ大会で重 由美子/木下 アリーシア組が日本セーリング界、史上初の銀メダルを獲得（470女子）
1999年：日本ヨット協会（JYA）と日本外洋帆走協会（NORC）が統合され、公益財団法人日本セーリング連盟（JSAF）が発足
2004年：オリンピック・アテネ大会で関 一人/轟 賢二郎組が日本セーリング界、男子史上初の銅メダルを獲得（470男子）
2017年：世界選手権、オランダ：メデンブリックにて土居 愛実選手がシングルハンド女子で日本人史上初の銅メダルを獲得（レーザーラジアル）
2018年：世界選手権、デンマーク：オーフスにて近藤 愛/吉岡 美帆組が日本人女子史上初となる金メダルを獲得（470女子）
2023年：世界選手権、オランダ：ハーグにて岡田 奎樹/吉岡 美帆組が、新種目変更後、史上初の金メダルを獲得（470MIX）
2024年：オリンピック・パリ大会で岡田 奎樹/吉岡　美帆組が、20年ぶりの銀メダルを獲得。（470MIX）